

第13回委員会で審議が終了した事業

1 県事業

番号	事業名 路線又は箇所名等	事業概要	再評価の理由
1	住宅市街地基盤整備事業 (一) 横芝山武線	山武地域内の開発にあわせ当該道路を整備し、交通の安全性、速達性の向上及び地域の振興を図る。 ・総事業費 27 億円 ・延長：1.65km ・事業期間：H9～H19	②
2	木更津港修繕(重要)事業 吾妻地区	木更津港における漁業活動の安全で利便性を確保するため、小型船舶(鮎船等)だまりの整備・充実を図る。 ・総事業費 44 億円 ・延長：0.6km ・事業期間：S63～H21	⑥
3	木更津港港湾環境整備事業 富津地区	周辺地域の優れた自然環境を活かし、東京湾地域の総合的な親港・親水空間の拠点として、また、防災拠点として整備する。 ・総事業費 35 億円 ・事業面積：20.5ha ・事業期間：S56～H21	⑥

2 市町村事業

番号	事業名 路線又は箇所名等	事業概要	再評価の理由
1	住宅市街地基盤整備事業 市道 I-32 号線 (佐倉市)	飯重町地と JR 佐倉駅周辺を結ぶ主要幹線道路として、国道 296 号の渋滞緩和及び通勤通学の交通体系の充実を図る。 ・事業主体 佐倉市 ・総事業費 65 億円 ・延長：2.55km ・事業期間：H4～H21	⑥
2	住宅市街地基盤整備事業 神崎川 (市京市)	神崎川流域内での氾濫被害を軽減し、治水安全度の向上を図る。 ・事業主体 市京市 ・総事業費 24 億円 ・延長：3.9km ・事業期間：H9～H20	②
3	住宅市街地基盤整備事業 野田都計計画道路 3・4・5 清水公園駅前線 (野田市)	野田市の南北幹線道路を東西に結ぶとともに、土地区画整理地区と東武野田線清水公園駅を結び、住環境を向上を図る。 ・事業主体 野田市 ・総事業費 27 億円 ・延長：799m ・事業期間：H9～H20	②
4	土地区画整理事業 茂原駅前通り地区 (茂原市)	茂原市の中心市街地として、公共施設の整備改善と宅地の再編成を行い、商店街の活性化と住環境整備を進める。 ・事業主体 茂原市 ・総事業費 163 億円 ・事業面積：10.7ha ・事業期間：H4～H28	⑥
5	土地区画整理事業 請西千束台地区 (木更津市)	東京湾アクアライン、館山自動車道、かずさアカデミアパークなどの波及効果を、木更津市のまちづくりのきっかけとするため、良好な住環境を有する住宅市街地の造成を進める。 ・事業主体 組合 ・総事業費 120 億円 ・事業面積：23.4ha ・事業期間：H3～H22	⑥
6	土地区画整理事業 高柳駅西側地区 (柏市)	東武野田線高柳駅の周辺住宅地への商業サービス施設の充実や通勤・通学利用者の利便性を図る都市基盤整備を進める。 ・事業主体 組合 ・総事業費 59 億円 ・事業面積：15.7ha ・事業期間：H9～H21	②
7	都市公園事業 印西都計計画公園 5・5・8 松山下公園 (印西市)	市民の多様なニーズと年々増加するレクリエーション需要に対応し、市民の心身の健康増進及び憩いの場を提供するため整備を進める。 ・事業主体 印西市 ・総事業費 88 億円 ・事業面積：14.1ha ・事業期間：S57～H22	⑥

再評価の理由：① 事業採択後、5年間を経過した時点で未着工の事業
 ② 事業採択後、10年間を経過した時点で継続中の事業
 ③ 事業採択前の準備・計画段階で5年間が経過している事業
 ④ 事業採択時における予定事業実施期間が5年以内の事業であって、事業採択後5年間を経過した時点で継続中の事業
 ⑤ 事業採択時における予定事業実施期間が5年超で、かつ事業採択後5年間を経過した時点で継続中の事業であって予備的な検討を行った結果、再評価が必要とされた事業
 ⑥ 再評価実施後一定期間(5年・10年)が経過している事業(再再評価事業)

問合せ先一覧

担当課	種 別	電話番号
(総括)	県土整備政策課	0 4 3 - 2 2 3 - 3 1 6 3
住宅課	住宅市街地盤整備事業	0 4 3 - 2 2 3 - 3 2 2 9
道路整備課	住宅市街地盤整備事業 (道路事業)	0 4 3 - 2 2 3 - 3 1 2 2
道路整備課	住宅市街地盤整備事業 (街路事業)	0 4 3 - 2 2 3 - 3 2 6 9
河川環境課	住宅市街地盤整備事業 (河川事業)	0 4 3 - 2 2 3 - 3 1 7 9
都市整備課	土地区画整理事業	0 4 3 - 2 2 3 - 3 5 4 1
公園緑地課	都市公園事業	0 4 3 - 2 2 3 - 3 9 9 7
港湾課	港湾整備事業	0 4 3 - 2 2 3 - 3 8 4 7